

本校では本科4年生及び専攻科生を対象に「学外実習」という科目を設けています。この科目は、学生が学校を離れ企業の現場を実際に体験することで視野及び学習の幅をひろげようとするものです。今でこそ「インターンシップ」「職場体験」などという名称で広く知られるようになっていますが、本校では、大学工学部等の他の高等教育機関と同様に創設期から実施されており、10年ほど前より単位として認定されるようになってきました。ここ数年の特徴としては、公募制もしくはそれに準ずる企業が特に大手を中心に増えており、全国から応募してきた学生の中から選ばなければ受講できないという社会の状況を実感する場面にもなりつつあります。

本年度の学外実習をサポートする学外実習連絡会(各専門学科及び専攻科担当教員、一般教科担当教員、教務主事補、学生課教務係で構成)を4月に発足するにあたっては、3月11日の東日本大震災とそれに伴う様々な出来事の影響から学生を受入れていただける企業がかなり減るであろうという懸念がありました。実際、震災後の厳しい状況により今年には引受けられないという回答をいただいた企業も少なからずありました。そのような中、機械工学科29名、電気工学科21名、電子制御工学科22名、情報工学科30名、物質化学工学科30名、専攻科16名の合計148名の学生が、様々な場所で学外実習を受講する

## ●本科生実習先企業一覧(88社)

アイコム	京セラ	神鋼テクノ	武田薬品工業	ハイマックス
旭化成	京セラコミュニケーションシステム	住金関西工業	ティ・アイ・ディ	白光
アズマ	KDDIテクニカルエンジニアリングサービス	住友化学	テクノス	パナソニック AVCネットワークス社
イシダ	ケイミュー	住友精化	テックインテック	パナソニック ホームアプライアンス社
伊藤金属製作所	コスモ石油	住友ベークライト	寺崎電気産業	パナソニック セミコンダクターデバイスデバイス
出光興産	コニカミノルタセンシング	総合警備保障	東燃ゼネラル石油	ヒラノテクシード
宇部興産	コニカミノルタビジネスソリューションズ	第一工業製薬	東レ	フジシール
エフ・テック門口	コムラ製作所	第一三共プロファーマ	トッパンテクニカルデザインセンター	ホソカワミクロン
大阪ガス	近藤電子工業	ダイキエンジニアリング	ナカバヤシ	松尾捺染
大阪ジャッキ製作所	佐藤薬品工業	ダイキン工業	西岡鋳螺	三菱電機システムサービス
岡村製油	サントリープロダクツ	ダイジェット工業	ニチフ端子工業	三菱電機ビルテクノサービス
岡村組	三和澱粉工業	ダイセル化学工業	日本原子力発電	明電舎
オプティム	三和鋳螺製作所	ダイソー	日本たばこ産業	メタウォーター
オムロン	塩野義製薬	大同化学工業	日本テキサス・インスツルメンツ	ユニチカ
オリエン特化学工業	資生堂	大日本精機	日本電子工業	LIXIL
カシフジ	シマノ	田岡化学工業	日本ニューマチック工業	ロート製薬
かんでんエンジニアリング	昌和発条製作所	チームラボ	日本ネットワークサポート	
共栄社化学	情報通信エンジニアリング協会 近畿支部	中部電力	日本ブチル	

## ●専攻科生実習先一覧(8社、2大学院)

アズマ	カネカ	住友精化	デンソーテクノ	東燃ゼネラル石油
トッパンテクニカルデザインセンター	日本制御	パナソニックAVCネットワーク社	大阪大学大学院	奈良先端科学技術大学院大学



ことができました(受入企業は下表参照)。この結果は、本校学生の受入れと指導を快諾いただいた各企業の皆様、受入先の開拓や学生派遣先の調整、学生指導にあたり多大な時間を費やしていただいた各専門学科の担当教員の方々、学外実習特別講演会の講師をお引受けいただいた本校機械工学科卒業生 榊野隆弘氏、その他、個別にお名前はありませんが様々な方々のご尽力のおかげと感謝しています。

ところで、すべてがうまく終わったわけではないことを追記しておきます(昨年と同じようなことをまた述べるのは我々送り出した側の至らなさを晒すことでもあり、書きたくはないのですが)。個々の事象については述べませんが、受け入れて頂いた方々に迷惑をかける原因の多くは受講学生の目的意識の欠如にあると私は考えています。「単位がでる」「みんながいくから自分も」というような軽い気持ちのままなんとなく「学外実習」に参加すると結果的に周囲に迷惑をかけてしまう、ということになりがちです。学生の皆さんには、「学外実習」に限らず、何事にも目的意識を明確に持って行動するというを普段から心がけてもらいたいと思います。

## インターンシップ学生報告

情報工学科4年 岸本 光

今夏、私は株式会社アズマ様に5日間お世話になりました。実習内容は、今まで扱ったことのないプログラミング言語によるソフトウェアの開発でしたが、分からないところは社員の方々に指導して頂き、期間内で完成させることができました。

私はインターンシップを通じて、現在学んでいる知識や技術が現代社会にどのように貢献しているかを学び、今後の社会において情報工学の分野がより一層大きな役割を担うであろうと感じました。

化学工学専攻1年 山中 幸一郎

私は、今回のインターンシップで化学系の「カネカ」という企業に行き、2週間、業務を体験させていただきました。会社の方々には、時には優しく、時には厳しく熱心に指導していただきました。実習先の方に言われて一番心に残っている言葉は「とにかく必死にやってみろ」です。この言葉の意味は、ルーキーに人を気遣う余裕はなくていいということでした。もし、私がどこかの企業に入社する日がくれば、この言葉を胸に日々を過ごすことになるでしょう。